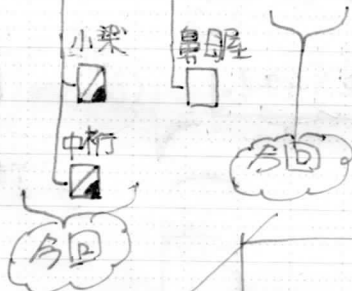


'13.3.29

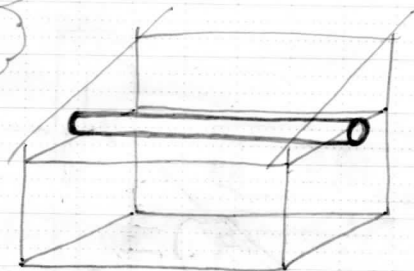
(1/4) (未 墨 刻 組)



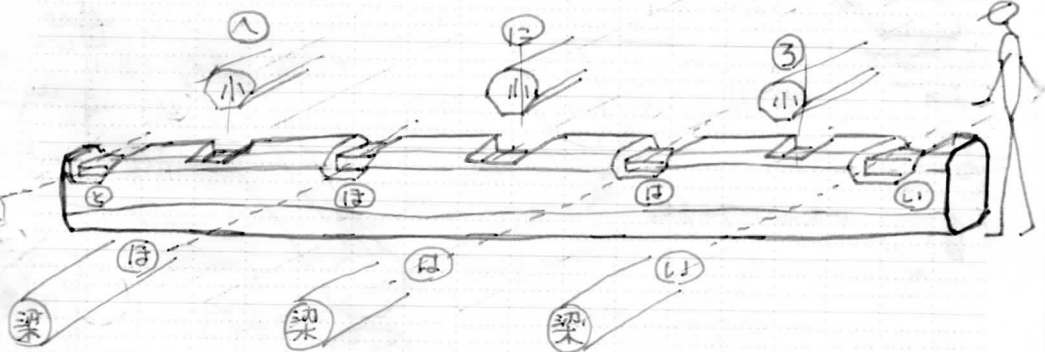
<中桁>

11は11大物

長 6000 x 500 x 500 (束口)



・梁をひかりつけて刻み.

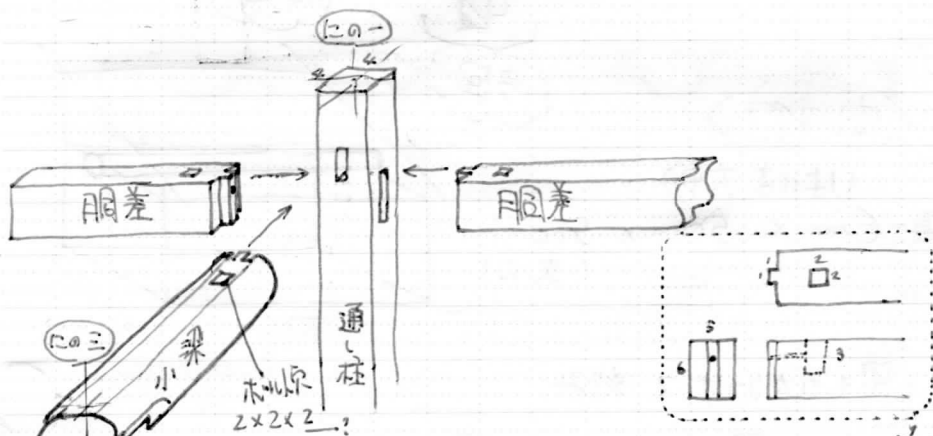
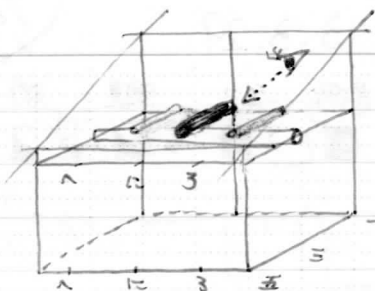


'13.3.29

2/4

こぼり
〈小梁〉

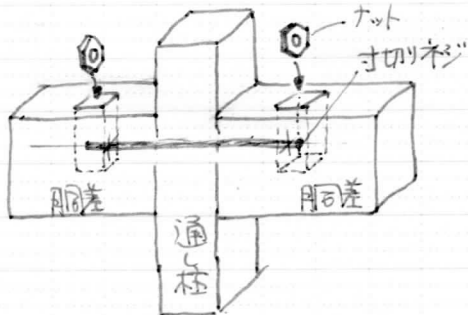
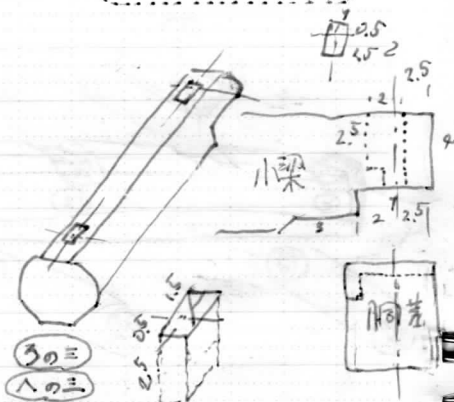
2Fのロフト部分
梁のな(1) (2) (3) には
小梁を入ります。



中桁 (梁)

タボ柱で止め

※ 胴差×通り柱はホルト補強。

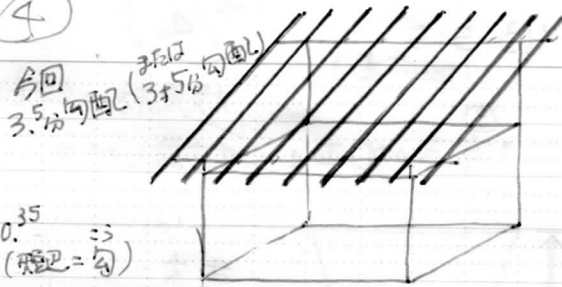
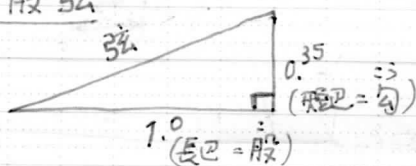


13.3.29

3/4

たす
 <垂木>

二二 = かん
 • 勾股弦

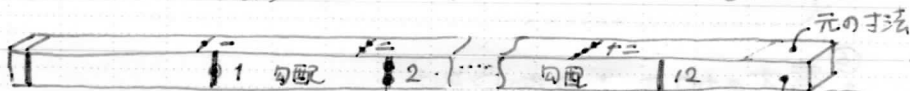


弦の長さ = $\sqrt{股^2 + 勾^2} = \sqrt{1.0^2 + 0.35^2} = 1.06$

• 勾配定規の製作

a) 直竿 (かんざお)

(直竿 '12年12月 1/3頁参照)

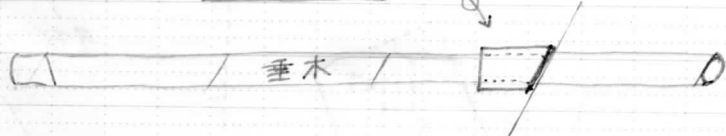
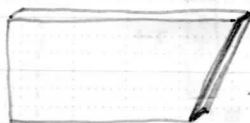


⇒ 以前つくった直竿のちがう面に記入
 (4000 × 40 × 40位の角材)

1.06倍の補正尺
 1/4(伸) 2.7

b) 勾配板 (?)

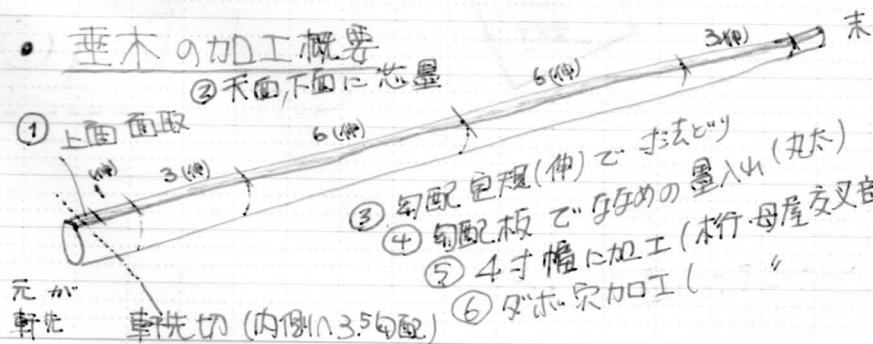
(墨付用)



• 垂木の加工概要

② 天面、下面に芯墨

① 上面面取



③ 勾配定規(伸)で寸法ヒツ

④ 勾配板で芯墨の墨入れ(丸太)

⑤ 4寸幅に加工(木桁・母屋交叉部)

⑥ 丸太穴加工

元が
 軒先

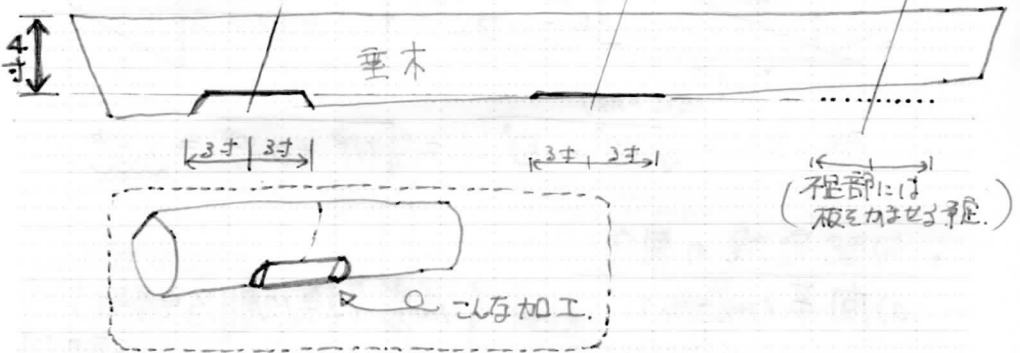
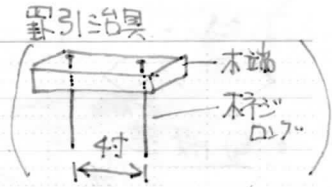
車洗切 (内側は3.5倍)

13.5.5
(自作業)

4/4

⑤ 垂木の加工: 4寸厚に加工

横架材との交差部に



⑥ 垂木の加工: タボ穴あけ

